

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	防災減災
相談タイトル	波圧算定に用いる合田式、消波工を十分に被覆したときの波力算定式に用いる λ について
相談者	岩手県農林水産部漁港漁村課復旧・整備グループ
相談内容（メール質問）	<ul style="list-style-type: none"> ● 漁港基準で用いるλと港湾基準で用いるλが少し違います。適用している波圧算定式は合田式で同じと理解しているのですが、補正係数λが異なるのは何故か、理由があればご教授お願い致します。
相談会（メール質疑）の結果（R02.7.22 メール回答）	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計参考図書 p91 に記載されているとおり、漁港・漁場の施設の多くは碎波帯となる浅海域に存在しています。設計参考図書で新たに採用された波圧算定式は既往の被災事例や水理実験結果を踏まえて補正した係数を採用しています。 ● 詳細は参考図書 p100 に記載のある大村ら（2015）の論文を参照してください。
相談会（メール質疑）後の検討状況	<p>施設の築造位置や海域の特性・状況により、補正係数の使い分けを行っている事を理解致しました。</p>